

りんどうの施肥は、新しい根の分布位置に行うと効果的

【1 成果概要】

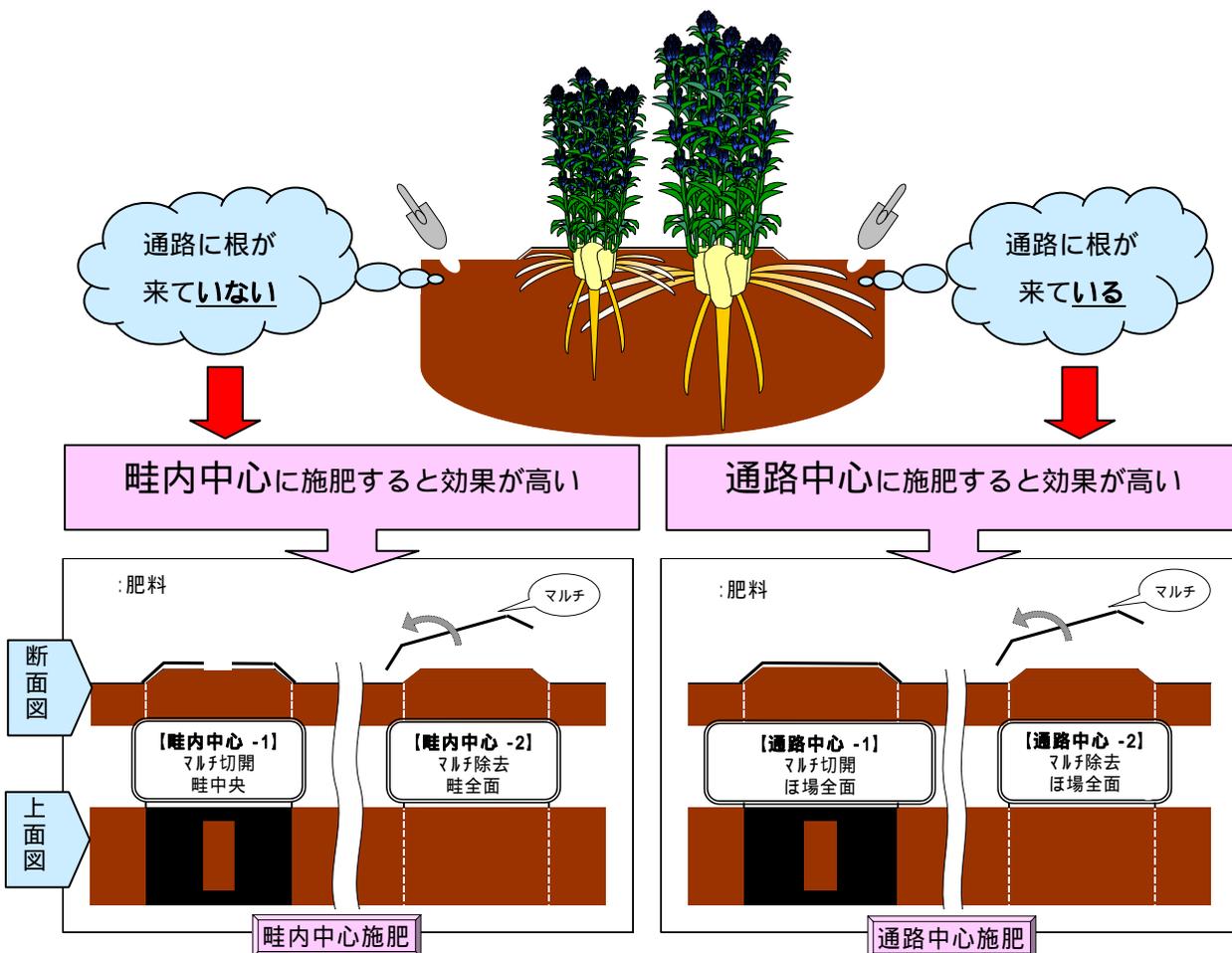
？ 採花期間のりんどうほ場では、除草の手間を省くためマルチを残すことが多くあり、ほ場によって施肥位置がマチマチで、効果的な施肥位置がわかりませんでした・・・

！ 採花期間のりんどうへの施肥は、**新しい根の分布位置**に行うのが効果的とわかりました！

「研究レポート No.466 肥料費 30%減！りんどうの株養成期間一発施肥」で示した株養成期間（定植2年目まで）の施肥に続く、「採花期間（定植3年目以降）の施肥の考え方」です。

【2 やり方】

通路中央から株に向けて、10cm ほどの深さで掘ってみましょう。りんどうの新しい根は浅いところにあります。新しい根の位置（先端）を観察してから、根のある範囲に肥料をまきましょう。



【3 注意】

りんどうの根張りは「排水性などのほ場条件」「品種」「株齢」によって異なる場合があることを念頭に、根の位置を観察しましょう。